

ご自由にお持ち下さい

きらめき



独立行政法人 地域医療機能推進機構

福岡ゆたか中央病院 広報誌

Harvest

ハーベスト

2024

新年号

vol.7



INDEX

病院長の挨拶	1
トピックス	2
健康管理センター	3
「食事で満足していただくために」	5
レシピ紹介	6
医師外来診療担当表	7



病院長

まつもと たかひろ

松本 高宏

明けましておめでとうございます。新たな年を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

3年以上続いた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に翻弄される日々も、終息とはいかないまでもようやく落ち着いてきたようです。この期間に地域の皆さんや近隣の医療機関を始め色々な方面から当院へ心のこもったご配慮、ご支援をいただき誠にありがとうございました。これからはアフターコロナの新しい日常に対応するべく当院でも診療体制のさらなる充実に取り組んでいきます。

ご承知の通り今年は医師の働き方改革が始まります。ワーク・ライフバランスの適正化は医師に限らずどの職種でも重要ですが、医師の地域間や診療科間での偏在化が強まっている状況下で、都市部ではない地方の医療、とくに救急医療体制を守れるかどうか気がかかっています。当院も常勤医師の数は徐々に減少していますので、診療体制を維持するためにはできるだけ医師一人ひとりの負担を軽減する対策が喫緊の課題です。そのため他職種へのタスクシフト・タスクシェアを進めています。その方策の一つとして、書類作成などの事務作業の軽減のため医師事務作業補助者を増員させています。また、医師の指示のもと特定医療行為が実施できる看護師の育成にも取り組んでいます。これらはそれぞれの職種のスキルアップにつながるものでもあり、他の職種も含め当院ではスタッフのキャリアアップに積極的に取り組んでいきます。これからも、この地域で必要とされる安心・安全な医療を実践するとともに、さらなる医療の質の向上に努めて参ります。また、地域の人たちの健康保持、疾病予防にもこれまで通り力を入れていき、健やかな生活が継続できる地域づくりに貢献していきたいと思います。

COVID-19の感染症法での位置づけは5類に変更されましたが、完全には終息していません。それと同時に、これまでCOVID-19の陰に隠れていた感のあったインフルエンザやアデノウイルスなど他の感染症が拡大しています。これからもマスク着用、手洗いの励行などを続けて感染予防に努めることが大切です。当院でも全ての職員を守り、院内感染を予防して、医療機能の維持に集中することが重要と考えています。そのため地域の皆さんには今後もしばらくは面会制限などご不便をおかけすることがあるかもしれませんが、ご理解のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

今年こそは地域連携の会や健康フェア等の地域貢献活動が再開できて、皆さんと顔を合わせてお話ができることを願っています。今後とも職員一同、皆様のご意見を拝聴してこの地域全体に少しでもお役に立ちたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

第15回福岡ゆたか中央病院 地域協議会を開催しました

地域協議会とは、当院が地域医療・地域包括ケアの要として地域のニーズに応えた病院運営を行えるよう、行政機関や医師会、地域の学識経験者の皆さまからご意見やご要望を伺うために年2回開催しております。ここ数年はコロナ禍で開催を見合わせておりましたが、今回は、令和5年11月16日(木)に第15回福岡ゆたか中央病院地域協議会をおよそ4年ぶりに当院にて開催しました。協議会委員の皆さまより大変貴重なご意見を頂きました。お忙しい中、ご出席いただいた協議会委員の皆さま誠にありがとうございました。次回は、令和6年2月15日(木)に開催予定です。※詳しい内容は当院のホームページにてご確認ください。



第8回JCHO地域医療総合医学会に参加して

12月7日、8日に三重県津市にある三重総合文化センターにてJCHO学会が開催されました。今回のテーマが「ポストコロナの地域医療戦略」という事で、コロナ関連の発表が多かった印象があります。私自身コロナ患者のリハビリを担当しており、他院の現状や取り組みは参考になるものばかりでした。私は「当院の間質性肺炎患者の呼吸リハビリテーション介入効果」について発表を行いました。発表までに抄録の見直しなど沢山の方にご指導いただき、自分自身成長に繋がったと感じています。発表は緊張しましたが、無事に終わることができ一安心です。会場でも様々な意見をいただき、非常に勉強になりました。当院からはリハビリテーション科以外にも看護師、栄養士が参加しており、他部門の発表を聞ける事がJCHO学会の醍醐味だなと感じました。この経験を今後の臨床に活かしていきたいと考えています。



リハビリテーション科
理学療法士
西岡 大輝



認知症デイケアに 取り組んでいます。

当院では、認知症患者さんの生活リズムを整えることを目的とした認知症デイケアを開催しています。認知症患者さんは生活環境が変化したり、苦痛があると簡単に興奮や暴力・暴言、妄想、徘徊などが出やすいと言われています。認知症患者さんがデイケアに参加すると表情が穏やかになり、「夜間はぐっすり眠れた」と言われます。この活動は、2023年12月にJCHO学会で発表しました。



健康管理センター

現在の健康管理センターは、平成16年に新たに併設され、健診専用のフロアと医療機器の完備、進捗誘導支援システム導入等を経て、現在に至るまで進歩を重ねてきました。センター内では看護師6名、保健師3名、事務員17名が勤務しており、関係部署と協働して質の高い健診の提供に向けて日々研鑽しています。筑豊医療圏を中心に、北九州地区、京築地区などの事業所にも健診バスで出向き、ここ数年の総受診者数は増加を続け、年間3万人を超えています。

1 健診内容の紹介

当センターでは各種法律に基づく健診を実施しています(以下)

労働衛生法に基づく定期健康診断、生活習慣病予防検診(全国健康保険協会)、特定業務従事者健診、雇用時健診、特定健診・がん検診、人間/脳ドック、そのほか利用者が

選べるオプション検査多数 土曜日健診(直方鞍手歯科医師会、事業所1施設、直方市住民健診) 健診車2台保有(センター受診と変わらない内容の健康診断を受けることができます。)



2

コロナへの対応

当院にはもともと結核病棟があり、陰圧室設備が完備されていたことから、早い段階より積極的にコロナ感染症患者の受け入れを開始しました。受け入れ開始時や院内におけるクラスター発生時には、健診業務をすべて中止せざるを得ないこともありました。しかし、当センターは病院に併設ながら、一般診療と健診受診者が構造上行き交うことはありません。そのため、早期に通常健診へ



戻すことができました。健診バスでは医療介護施設にも多く出向いており、施設での度重なるクラスターの発生で予定変更の連続でした。しかし、長年培った信頼関係を軸に、事業所の方に感染予防の協力を仰ぐとともに、その重要性を伝えることができ、双方の感染予防の意識を高めることに繋がりました。

本年度からは特定保健指導件数増加を目標に掲げ、保健師と栄養士が協働して受診当日の該当者にもれなく指導が行える体制の構築を目指しています。保健師は事業所へも積極的に出向き、労働衛生活動の傍ら特定保健指導、ストレスチェック業務を実践しています。

筑豊医療圏には大規模な工場や介護福祉施設などが多数あり、その多くが当院で健診を受けています。地域を支える労働者の健康を守ることも大切な使命です。地域とのつながりを大切にし、ニーズに応え続ける健診施設を目指しています。

看護師長 谷田 美弓

「食事で満足していただくために」

当院栄養管理室では入院患者様においしいと言っていただくために、いくつかの活動を行っています。今回はその一部をご紹介します。

● 栄養一口メモ

病院食への理解と健康食へ興味を持って頂くことを目的に、食事に関する豆知識などを管理栄養士が作成し、毎日昼食時に患者様のお膳にのせております。

● 本格的なデザート提供

院内デイケアイベントでは季節感もあり、嚥下困難者にも配慮した本格的なデザートを提供しています。

● 行事食

見た目でも楽しめておいしく食べられるように得に盛り付けには力を入れています。

● 中庭で育てるブルーベリー

リハビリ庭園では毎年10kgを超えるブルーベリーが収穫できます。給食で季節のデザートとして患者様に提供しています。

2023年12月の食事アンケートでは食事を満足、とても満足と回答した方は88%でした。入院生活で食事が楽しみのひとつとなっていただければと思います。

Q

解決!野菜ジュースの疑問

**野菜ジュースを
飲めば野菜は
摂らなくてもいいの?**



A

残念ながら市販の野菜ジュースを飲むことは野菜を食べる代わりにはなりません。

ポイント!

野菜ジュースは生野菜に比べて水溶性ビタミンや、食物繊維が減少する傾向があります。日々バランスの良い食事に気を付けながら足りない分を補うために飲用するのがおすすめです。また野菜ジュースも様々な種類がありますが、種類によっては、飲みやすいように砂糖がたくさん入っているものもあるため血糖値が高い方は注意が必要です。

JCHO福岡ゆたか中央病院 栄養管理室

● 七夕押し寿司 行事食



● 本格的なデザート 手作りケーキ



● 中庭で育てるブルーベリー



クリームソースがかかることにより素材にソースが絡み
少ない塩分でも味を感じやすくなります。



鶏肉のクリームソースかけ

1人分 エネルギー 162kcal 塩分相当量 0.5g

材料 (2人分)

皮なし鶏もも肉(開き)・・・60g×2切
塩・・・・・・・・・・0.2g(1つまみ)
コショウ・・・・・・・・少々
オリーブオイル・・・・・・・・6g(大さじ 1/2)
刻みパセリ・・・・・・・・少々
グリーンアスパラ・・・・・・50g(3本)
白だし・・・・・・・・・・1g(小さじ 1/5)

【A】

タマネギ・・・・・・・・・・20g(小 1/8)
マーガリン・・・・・・・・・・4g(小さじ 1)
小麦粉・・・・・・・・・・2g(小さじ 2/3)
水・・・・・・・・・・10g(小さじ 2)
牛乳・・・・・・・・・・20g(小さじ 4)
コンソメ・・・・・・・・・・1g(小さじ 1/2)
生クリーム・・・・・・・・・・20g(小さじ 4)

作り方

- ①タマネギをみじん切りにする。
- ②グリーンアスパラの節と固い部分を除き、3等分にする。
- ③②を茹でて冷水で冷やし水気をきり、白だしで味付けする。
- ④皮なし鶏もも肉(開き)に塩とコショウを振る。
- ⑤フライパンにオリーブオイルをなじませ、④を蒸し焼きにする。(片面を強火で焼き、返してフタをして弱火でしっかりと火を通す。)
- ⑥手鍋にマーガリンを入れ火にかけ、タマネギを軽く炒める。
- ⑦⑥に小麦粉を入れ軽く炒めて【A】の水、牛乳、コンソメを入れ、とろみが出るまで弱火で加熱する。
- ⑧⑦に生クリームを入れ、火を止める。
- ⑨⑤を食べやすい大きさに切って器に盛り、⑧をかけて刻みパセリをかける。付け合せのアスパラを盛り付ける。

初めて受診される患者さまへ

当院に初めて受診される患者さまは、以下の医師がまず診察いたします。(緊急の場合を除く)次回より専門医が診察しますので、ご了承ください。午後は救急当番医が診察します。

月 合瀬 **火** 中塚・伊藤 **水** 重藤・合瀬または篠崎
木 村田・篠崎 **金** 花香・古森

ご予約の方へ ☎0949-26-2311(代表)

予約のお電話は、月曜日から金曜日の**13:00~17:00**で受け付けております。明日の予約および明日への予約変更は、**前日14:00**までとなっています。

※午前中および土・日・祝祭日の電話予約は受け付けておりませんのでご了承ください。
※初診の方および前回診察から3ヵ月以上経った方はご予約できませんのでご了承ください。

医師外来診療担当表

【ご案内】初診の方は、すべて初診担当医が対応致します

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科初診担当	(呼吸器) 合瀬 瑞子	(内科) 中塚 敬輔 12:30~2名 線維筋痛症患者 予約のみ (消化器) 伊藤 隆成	(循環器) 重藤 由行 (呼吸器) 篠崎 聖児 第1・3のみ、5は輪番 (呼吸器) 合瀬 瑞子 第2・4のみ、5は輪番	(消化器) 村田 征喜 (呼吸器) 篠崎 聖児	(内科) 花香 哲也 (呼吸器) 古森 雅志
内科	高血圧 心臓病	松本 高宏 循環器の新患 重藤 由行 再来のみ	松本 高宏 再来のみ	松本 高宏 再来のみ 重藤 由行 再来のみ 宮田 健二 予約のみ	重藤 由行 再来のみ
	胃・腸	田畑 寿彦 予約のみ	大野 眞由美 第2・4午後予約のみ	村田 征喜 再来のみ	伊藤 隆成 再来のみ
	リウマチ 膠原病	中塚 敬輔 再来のみ	中塚 敬輔 再来のみ		田中 良哉 第2のみ 中塚 敬輔 第2以外再来のみ
	甲状腺・内分泌				齋藤 桃 再来のみ
	糖尿病			肥川 健司 予約のみ	緒方 久修 午後予約のみ
	一般内科	花香 哲也 再来のみ	花香 哲也 再来のみ	酒井 秀典 予約のみ	
	もの忘れ外来			植木 香奈 予約のみ	
	呼吸器内科	篠崎 聖児 再来のみ	古森 雅志 再来のみ	古森 雅志 再来のみ	宮崎 直樹 予約のみ
外科	肝胆膵・消化器・肛門 乳腺・甲状腺・呼吸器	錦 建宏	松成 康生 田 祐汰	松本 奏吉	錦岡 建宏 田 祐汰
	乳腺外科		高尾 由佳 予約のみ		
	呼吸器外科			生田 安司	
皮膚科	午後のみ	佐々木 奈津子			天方 葉子
整形外科		友弘 慎一	友弘 慎一	友弘 慎一	釘本 裕三
眼科	要紹介状		前原 裕亮	清原 鴻平	※注1

※注1 木曜日の眼科の診察につきましては、第1木曜日:奥平医師 / 第2・4・5木曜日:吉富医師 / 第3木曜日:橋本医師が診察いたします。

又、木曜日の診察は9:30からとなります。

外来診療受付時間 8:30~11:30(皮膚科は13:30~16:00) / 眼科初診は10:00まで

令和6年2月1日現在